

(大府市青少年問題協議会)

日時	令和4年12月13日(火) 午後3時から午後4時10分まで
場所	市役所 全員協議会室
出席者	委員：笹竹、深谷、馬場、高木、原田、早川(代理:中山)、榊原、鈴置、水野、高澤、菅原 事務局：中村部長、間瀬課長、鈴木係長、土屋主任
傍聴人	1名
欠席者	1名

(敬称略)

1. 会長あいさつ

コロナ禍ではあるがこのように対面で会議ができることを大変喜ばしく思う。委員の皆様の活発な意見をいただきたい。

2. 議 題

(1) 青少年の非行防止について

(事務局説明)

【委員】令和4年度も少年犯罪等の件数は減っている。何年か前から減少している印象がある。

しかし、SNSでのいじめ、誹謗中傷が顕在化している。それに起因した相談件数は増加している印象がある。

【委員】保護司として関わる対象者は減ってきているが、民法改正で成年年齢が引き下げられたことで今後どうなるかなと感じている。

(2) 青少年健全育成推進事業について

(事務局説明)

【委員】プチこどものまち、いただきまんぷく食堂、まなポート等の学生ボランティアについて、将来、管理栄養士や教員を目指す学生の活躍できる場所が提供されているのはありがたいと感じる。子どもたちが大学生の方と関わることで、将来、自分たちもそういう学生になりたいと思ってもらえると良い。

【委員】今の中学生はコロナ禍でボランティアの募集も減っており、また塾や学外でのスポーツ活動で忙しいため、ボランティアをする機会が減っている。多くの中学生が参加できるようなものがあると良いと思う。

(3) 大府市若者会議について

(事務局説明)

【委員】新学習指導要領が始まり、探求型の学習が求められているが、そういう点では非常に意義のある事業だと思う。参加者に取組を継続してもらうには、楽しい、来てよかった、居場所があると感じてもらうことが必要。また、頑張っても社会は変わらないと感じている学生が多いので、努力に見合った達成感があると、頑張れば変わると手応えを感じ、どんどんやってくれるのではと思う。

【委員】 コロナ禍で外に出る楽しみよりも家の中での楽しみが多くなっているように感じる。このようなイベントが参加者にとって充実した経験になると思うのだが、参加することの達成感、メリット、楽しい場所ということをより表現できると、家にこもっている子や居場所がないなど感じている子の参加も期待できるのでは思う。

【委員】 このイベントは、若者がどういう人になりたいか、社会にどう貢献したいか等のキャリア形成に良いと感じた。学外でも社会のことが学べたり、自己有用感を高めることができたりの活動があるのは、納得してキャリア選択する上でも良いことだと感じる。参加するモチベーションという点では、そこでの経験が自分の将来の何に役立つのかを提示すると良い。また、学校でアイデア出しの手法等を学ぶ場はあまりないので、そこに時間をかけることは、若者の役に立つと思う。さらに、政策提言を行って、実行するところまで踏み込むことで、達成感、自己有用感に繋がるのではと思う。

【委員】 会議の構成のバランスについて、両方のテーマでやっても良いのではと思う。自由なテーマで楽しく議論を活性化させる会や、政策を提案してもらいキャリア形成に繋がるような会に分けても面白いのではと感じた。

【委員】 初めに市の課題を提示し、考え方を身に付けてもらった後、自分の問題に引き付けて自由に考えるといったような段階的に実施すると良いのではないかと思う。

【委員】 自分の意見を言うとか、自由な発想をストレートに言うことがなかなかできない若い方が多い。否定されない、安心安全にしゃべることができる場づくりが大切なので、雰囲気作りやアイデア出しの手法には時間をかけるべきだと思う。参加者自身に課題意識がなければ議論にならないので、自分たちが住み続けるために何が課題なのか自由に意見を出してもらうのは一つの方法だと思う。提言しても変わらないと思われないよう、大人側が、若者のアイデアを実現する努力をすることで、参加者は市の施策に関わり続けてくれるのではと思う。

【委員】 地域で活躍している人は高齢者が多い。若者会議に参加して終わりではなく継続して関わっていただけると良いと思う。また、3グループの発表が形になっていくのが見えてくると良い。

【会長】 形に残すとするならば、テーマ設定の段階で、ある程度形に残せるようなテーマを設定しないといけない。こういうものがあつたらいいなというレベルだと、実現可能ではないので、事務局側がアドバイス等、多少手を入れていかないと、夢物語で終わってしまうテーマになるかもしれない。

【委員】 実施過程の楽しさが見えることで参加のきっかけになる。

【委員】 若者会議が形式で終わらないよう、事務局側がどういう力を育てたいのか、どんな大人になってほしいのか等の目的を見失わないで実施して欲しい。

【委員】 就職活動においてボランティア活動が重要である。案内ハガキなどにこの活動が学生時代に頑張ったこととしてアピールできる等の文章を入れていくと良いと思う。